

杉本コレクションと対峙する  
10人のそれぞれの「時・空・感」を観る。

# Noh Climax

このたび、杉本博司が若手能楽師へ放つミッションは、杉本が所有するいにしえの能面コレクションの甦り。杉本から差し出された能面に触発された能楽師は、能面に相応した曲を持ち寄り、おののおののオリジナリティあふれる「面の表現」をすることで、杉本に応える。

能舞台では、鏡板に代わるものとして、二つの屏風（杉本コレクション）を用い、「明」「暗」と、二様の世界観を演出する。

## 能 クライマックス

杉本博司

ノークライマックスは不惑症と訳す。冥界との交信装置がわが国固有の演劇形式としての「能」であると私は常日頃から思っている。冥界との交信には陰陽師や巫女などの特殊技能集団もいたが、日本人が潜在的に持つている冥界交信能力に訴えかける演劇として能は発展してきた。神も仏もいない近代化の果ての現代に至って、日本人の冥界交信能力は絶滅期を迎える。社会そのものが不惑症の時代に陥ってしまったのだ。私は今、能のクライマックスに向けて、私のものと参考してきました。いにしえの能面達に登場願うことにした。不惑症の治療には、あの昔日の喜びを思い出すしかないのだ。

## 杉本博司 プロフィール

1948年東京御徒町生まれ。1970年渡米、1974年よりニューヨーク在住。活動分野は、写真、彫刻、インスタレーション、演劇、建築、造園、執筆、料理、と多岐に渡る。杉本博司のアートは歴史と存在の一過性をテーマとしている。そこには経験主義と形而上学の知見を持つて、西洋と東洋との狭間に観念の橋渡しをしようとする意図がある。時間の性質、人間の知覚意識の起源、といったテーマがそこでは探求される。2008年に建築設計事務所「新素材研究所」、2009年に公益財團法人小田原文化財団を設立。2017年10月には小田原文化財団（江之浦測候所）が開館。1988年毎年芸術賞、2001年ハッセルブルック国際写真賞、2009年高松宮殿下記念世界文化賞（絵画部門）受賞。2010年秋の紫綬褒章受章。2013年フランス芸術文化勲章オフィシエ叙勲。2017年文化功労者。



「猩々」

「小面」

「真蛇」

「瘦男」

「平太」

「父尉」

## 出演者

◎シテ方

・大島輝久

・坂口貴信

・谷本健吾

・大島衣恵

・鵜澤光

◎囃子方

・竹市学

・吉阪一郎

(笛)

(小鼓)

・亀井広忠

(太鼓)

(太鼓)

・大川典良

(太鼓)

13時公演

・林雄一郎

(太鼓)

17時公演

・お話し

杉本博司

・父尉

大島輝久

・「序」

大島輝久

・「暗」

坂口貴信

・「明」

休憩

・「小面」

谷本健吾

・「猩々」

鵜澤光

・「父尉」

大島衣恵

## プログラム

上演時間90分予定

### ○公演日程 2018年1月27日|土| 1日2公演

公演① 13時開演(開場は12時30分)  
公演② 17時開演(開場は16時30分)

### ○チケット料金

A席 正面 10,000円  
B席 脇正面 10,000円  
C席 中正面 8,000円

### ○一般チケット発売日: 2017年12月1日(金)

### ○チケット取扱い

チケットぴあ  
0570-02-9999 (音声自動応答 Pコード 482-991)  
<http://pia.jp/> (PC・携帯・スマートフォン共通)  
チケットぴあ、セブンイレブン、サークルK・サンクス各店舗で直接購入可能

企画・監修: 杉本博司

演出・囃子作調: 亀井広忠



セルリアンタワー能楽堂

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26番1号B2F

tel:03-3477-6412

各線渋谷駅より徒歩5分

主催・企画制作: 公益財團法人 小田原文化財団

制作協力: 株式会社 ハースト婦人画報社

協賛: Dom Pérignon

お問い合わせ: 公益財團法人小田原文化財団

tel: 0465-42-9170 (平日10:00-16:00 / 水曜日・休館日を除く)

<http://www.odawara-af.com/>